

『お守りが役立つとき』

幼児期は医療費補助があるため、医療保険は必要ないと思っていました。しかし、医療費補助がなくなるか不安であったため、2歳の時にお守り代わりに疾病タイプに加入しました。

3歳となり、幼稚園に通うようになったある日、熱が下がらなかったため、かかりつけのお医者さんに行くと、肺炎の疑いとのことで、即日、大きな病院へ入院となりました。幼児のため、保護者同伴宿泊ということで、個室を選択しました。

医療費は、医療費補助の為、心配はありませんでしたが、個室使用料が1日8000円発生し、日数が経つにつれ内心、痛い支出でした。

しかし、疾病タイプに加入していたお陰さまで、金銭的な補てんができ、何より加入していてよかったと素直に思えました。

